



## 春の味覚を感じよう!!えんどう豆のさやむき体験

和歌山盲学校自慢の1つに美味しい給食があります。

5月14日(水)の給食には春の味覚、和歌山県産の「うすいえんどう」を使った「豆ご飯」が給食に登場しました。

こどもたちは、給食に使う「うすいえんどう」のさやむきに挑戦しました。豆を飛ばさないようゆっくりさやを広げるなど工夫し、みんなで協力して5kgの豆のさやをむきました。さやをむくだけでなく、豆の匂いや豆をボールに入れた時、ボールの中で転がる豆の音を楽しんだりもしていました。

むき終わった豆は、こどもたちが給食室まで届け、調理員さんに「おいしい豆ご飯作って下さい」と伝えました。豆ご飯当日は、「自分でむいた豆が入ってる」と嬉しそうにおかわりしているこどもたちがいました。また、小学部の児童が、校内放送で「今日の豆ご飯の豆はぼくたちがむきました!」とうれしそうにアナウンスをしてくれていました。こどもたちにとって和歌山県の春の食材に直接触れ、春の味覚を感じる給食となりました。



この日の献立は豆ご飯の他にもじゃがいもと玉ねぎのみそ汁と旬の野菜がたっぷり!

## 第1回学校運営協議会を開催しました♪

和歌山県では現在、県内ほぼすべての公立学校に学校運営協議会を設置し「地域とともにある学校」として地域との連携を深めています。学校と地域が育てたいこども像等の目指す方向性を共有し、その実現に向けて協議を重ねています。学校の取組の充実に向け、具体的なアドバイスをいただいたり、こどもたちが、地域の人とともに地域を知り、いろいろな人とつながることで、ふるさとを愛する心を育んだり、自己肯定感が生まれたりしています。

和歌山盲学校は、在籍者の少ない学校ですが、専門性の高い教育が求められる学校です。そして、小さい学校だからこそできる取組もたくさんあると思います。学校運営協議会には学校の応援団となっただけ、委員の方と教員、また保護者の方や生徒たちがアイデアを出し合い、もっといい学校にしていきたいと考えています。そして、この取組を学校の中だけに留めることなく、より多くの方に知っていただけるよう、今後、本紙面やHPで学校運営協議会の取組について紹介していきます。



今年度の協議会委員のみなさんです

### 第1回目の運営協議会では…

まずは校長からの学校運営方針の説明を聞いていただき、質疑の後承認いただきました。今年度の重点項目である「キャリア教育の充実」と「育友会・生徒会等の活性化」について教員も入ってグループ協議を行いました。

「もっと盲学校を知ってもらいたい!」

「学校がある紀伊団地とは前はもっと交流してたんだけど…」 「こどもたちが『ありがとう』って言ってもらえる場面が作れないかな?」など、活発な意見が出ました。詳しくは学校HPの学校運営協議会コーナーでも報告します!